

第1回 KBICグローバルウェビナー

～ 革新的な医療機器創出に向けた米国との
コラボレーションの魅力を探る ～

2020
10.28 WED
15:00 – 16:40

業界に精通した米国ジャーナリストの生の声を聴いて
事業に生かしませんか。神戸宣言*の実行に向けて
新型コロナウイルス等により加速する環境変化が
生み出す様々な機会を探ります。



David Cassak 氏
MedTech STRATEGIST (米国医療機器専門誌)
共同編集長



池野 文昭 氏
スタンフォード大学循環器科
主任研究員

- 【日 時】 2020年10月28日(水) 15:00 – 16:40
- 【形 式】 Zoom Webinar
- 【参加費】 無料
- 【定 員】 450名(定員に達し次第締め切りとさせていただきます)
- 【言 語】 日本語、英語(同時通訳有り)

プログラム

- 15:00-15:05 主催者挨拶
(公財)神戸医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター統括監 花谷 忠昭
- 15:05-15:10 座長挨拶
スタンフォード大学循環器科 主任研究員 池野 文昭 氏
- 15:10-15:55 講演 「米国における医療機器イノベーション動向」
MedTech STRATEGIST 共同編集長 David Cassak 氏
- 15:55-16:40 対談 「日米コラボレーション」
池野 文昭 氏 & David Cassak 氏

(主催) 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

(共催) 神戸市

(後援) 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

お申込みは下記URL又は右QRコードからお願いいたします。

https://www.fbri-kobe.org/kbic/event/detail.php?event_id=353



*2019年11月8日に開催された「2019 日米医療機器イノベーションフォーラム神戸」で神戸宣言(下記URL)を採択。
https://www.fbri-kobe.org/kbic/forum/images/top/news_191108_declaration_j.pdf?20200312

お問合せ

(公財)神戸医療産業都市推進機構 クラスタ推進センター 担当:小林・渡邊
E-MAIL: inquiry@fbri.org TEL: 078-306-0719

登壇者プロフィール



David Cassak

**Innovation In Medtech, LLC (MedTech STRATEGIST 発行元)
Co-Editor-in-Chief and Managing Partner**

David Cassak氏は、Innovation in Medtechの共同パートナーであり、MedTech Strategistの共同編集者。30年前に、パートナーであるRoger Longman と共同でWindhover Information Inc.を設立し、IN VIVO、START-UP、Medtech Insight、Emerging Medical Ventures、The RPM Reportなどの優れた出版物を発表してきた。Cassak氏は、Elsevier CompanyのElsevier Business Intelligence誌の医療機器関連のコンテンツ担当、およびマネージングディレクターも歴任した。

2014年にはInnovation in Medtechを設立してMedTech Strategistや Market Pathwaysを出版し、またMedtech Innovation Summitなどの投資家向けカンファレンスを主催した。

過去30年の間に、医療機器業界内のさまざまな企業や業界団体の前で数多く講演をしており、MedTechの分野では広く知られている。



池野 文昭

スタンフォード大学循環器科 主任研究員

浜松市出身。医師。自治医科大学卒業後、9年間、僻地医療を含む地域医療に携わり、日本の医療現場の課題、超高齢化地域での医療を体感する。

2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、以後、14年間、200社を超える米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与する。また、Fox Hollow Technologies, Atheromed, KAI Pharmaceutical, CV Ingenuity等、創業時から関与し、成功したベンチャーも多数ある。ベンチャーのみならず、医療機器大手も含む、同分野での豊富なアドバイザー経験を有し、日米の医療事情に精通している。また、医療機器における日米規制当局のプロジェクトにも参画し、国境を超えた医療機器エコシステムの確立に尽力している。

スタンフォード大学では、研究と平行し、14年から、Stanford Biodesign Advisory Facultyとして、医療機器分野の起業家養成講座で教鞭をとっており、日本版Biodesignの設立にも深く関与。日本にもシリコンバレー型の医療機器エコシステムを確立すべく、精力的に活動している。